

# 森の川自然散歩

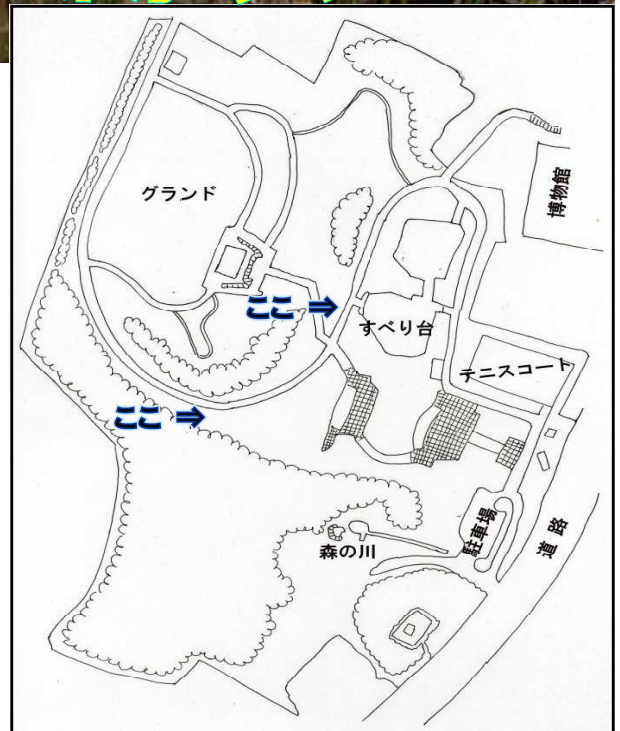
2018年2月号

森川の森に、サクラの季節がやってきた

上：森の木立の中の枝にとまるシロハラ成体の成体。

## カンヒザクラ（メモ）▶▶▶

- ときおりヒカンザクラとも言われるが、カンヒザクラがよく使われている。
- 名護岳や八重岳のサクラが有名で、県内各地の公園や庭に植えられているが、自生しているのは石垣島の荒川上流だけ。
- 沖縄では、カンヒザクラ以外のサクラはほとんど植えられていない。本土で育つサクラ(ソメイヨシノなど)にとって、沖縄は温かすぎるため、花が咲かないからです。
- 花が散った後にはサクランボがよく実る。食べられないことはないが、味は苦甘くあまり美味しくない。



# 森川公園で見つける不思議

緑の公園には、不思議がいっぱい見つかります。

## (12) カイツカイブキの葉っぱは？

カイツカイブキは、公園の園路沿いやすべり台の上などに植えられています。もともとは、北海道から九州に自生しているイブキ(ビャクシン)という木を庭木用に改良したものです。

ここで質問です。公園でカイツカイブキを見つけたら、よく見てみよう。さて、葉っぱはどんな形をしているか、分かったかな？

カイツカイブキの枝を触ってみると、丸っこくてすべすべしています。その表面を虫眼鏡で見ると、魚の鱗のようなのが見えます。これがカイツカイブキの葉っぱなんだ。

植物の葉っぱの形もいろいろだね。



上:森川公園のカイツカイブキ。

右:カイツカイブキの葉の拡大。



## 森川公園2月の花ごよみ

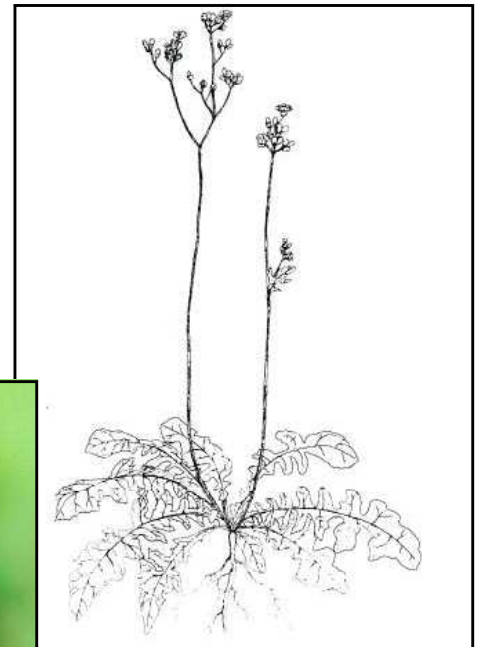
### 名前が少し怖い？ オニタビラコ

○公園の遊歩道を歩いていて、大きな木の根や 空き地などを探すと、すぐに見つかる植物です。ちょっとほうれん草に似た葉は長さ20cmくらいで、地面に張り付くように放射状に広がっています。

○それぞれの葉の付け根から、10～30cmくらいの茎(花茎)が出、その先っぽに3～4個の花がついています。花の色は黄色で、大きさは10～15mmです。「オニ」の名前の割には可愛らしい花です。

○花がないときは、タンポポによく間違えられます。

右:オニタビラコの花



上:オニタビラコ(スケッチ)

博物館で森川公園の見取り図をもらって、  
自分が見つけた動物や植物をメモしていこう！

疑問や質問があったら、博物館の職員にいろいろ聞いてみてね。

宜野湾市立博物館 〒901-2224 宜野湾市真志喜 1-25-1

Tel:098-870-9317 Fax:098-870-9316

